



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども

避難訓練

自分の命は自分で守る!!



5月30日(火)に、地震を想定した避難訓練を行いました。テレビやスマホから流れる緊急地震アラームについて事前に学習し、そのアラームと先生の指示から判断し、適切に身を守る訓練をしました。子どもたちは「おかしもは」の約束を守って落ち着いて行動できました。

八森小学校は標高40メートルにあります。津波警報が出たときは、児童は学校待機になります。自宅にいるときの地震については、ご家庭でも具体的に避難方法を話し合ってください。

普段から危機意識をもち、いざというときは「自分の命は自分で守る」ことができるよう様々な場面を想定した避難訓練を行っていく予定です。



ぼくたちの町を知ろう

町探検 (2年生)

5月31日(水)に、2年生が町探検を行いました。学校から徒歩で中浜地区に移動し、八森駅周辺の公共施設や商店等を見て回りました。今後、興味をもったところを調べたうえで訪問し、見学・取材等を行う予定です。



地域の様々な場所を調べたり利用したりする活動を通して、自分たちの生活は身近な人や場所と関わっていることを理解して、地域のよさに気付いてほしいと思います。



水産教室(4年生)

6月1日(木)に、4年生対象の水産教室がありました。鮎の稚魚を真瀬川に放流した後、子どもたちからは、「放流した稚魚はなぜ同じ方向に泳いでいったのか」、「鮎はどれくらいの大きさになるのか」といった質問がありました。

一方、真瀬川は鮎が育つ環境が整っていること、鮎は川の流れて逆らって泳ぐ習性があることなど、興味深いお話を聞くことができました。大きく育って真瀬川に戻ってくれることを、子どもたちと一緒に願いたいと思います。



